

大手スーパーマーケット T 社様

三温度対応の一括物流センターを運営 首都圏約 90 店舗に 1 日 7 便体制で納品

T 社様が神奈川県・川崎市に置く一括物流センターは、①加工食品の常温 DC（在庫型）センター、②菓子・衣料品などを対象にした常温 TC（通過型センター）、③日配品や生鮮食品を扱う低温 TC センター、④日雑品の DC センターなどが 1 ヲ所に集結した敷地面積約 6 万平方メートルに達する大型物流施設です。このうち、①～③の庫内オペレーションおよび全物流センターから出荷される商品の店舗配送業務を請け負っています。



物流センターの 1 日当たりの入荷ボリュームはトラック 700 台分、出荷ボリュームは 550 台。年間の商品通過金額は 1100～1200 億円に上ります。各物流センターの年間取扱量は加食・常温 DC が 950 万ケース&130 万コンテナ（折り畳みコンテナ）、常温 TC が 190 万ケース&37 万コンテナ、低温 TC が 6500 万ケース。店頭で陳列されている全商品の約 8

割をカバーしています。

物流センターでは商品を店舗別およびカテゴリー別に仕分けした後、東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡の約 90 店舗に 365 日体制で納品しております。各店舗への配送便数は標準規模の店舗で 1 日当たり平均 7 便。大型店で平均 10 便体制となっております。午前 11 時までに入った発注データ分については、午後 4 時以降に順次、店舗に納品する当日受注当日配送を実現しております。

スピーディーかつ、精度の高い荷揃え作業が求められるため、物流センターにはデジタルアソートシステム（DAS）やカートピッキングシステム、自動仕分け機といったマテハン機器を導入しております。また、物流センター内には、各店舗から回収した廃プラスチック（発泡スチロール）を再資源化するリサイクル施設を併設するなど環境対策にも取り組んでおります。

